

科目名 精神看護学概論 時間割表記名 精神看護学概論		配当時期 1年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 北里真弓
事前学習内容 心理学で学んだ内容「感覚・知覚」「記憶」「思考・言語・知能」「学習」「感情と動機づけ」「性格とパーソナリティ」「発達」について復習しておく。 講義に必要なテキストを熟読する。			
授業目標 1. 精神看護の目的と、心の健康維持における看護師の役割について理解できる。 2. 地域における精神保健活動の展開について理解できる。			
DPとの関連 DP1.看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2.一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3.一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP5.自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1.精神保健の考え方 1)精神看護学で何を学ぶのか (1)人と人との関係性 (2)精神看護学の基本的な考え方 2)精神の健康の概念	講義	テキスト①
2	(1)精神の健康とは(精神の健康の定義) (2)精神保健における3つの予防概念 (精神障害の一次予防、二次予防、三次予防) 3)精神障害のとらえ方 (1)「精神疾患」と「精神障害」 (2)精神障害者の法的定義		
3	2.心の機能と発達 1)心の機能 2)人格の発達 (1)人格 (2)気質 3)ライフサイクルとアイデンティティ(精神と情緒の発達)	講義	テキスト①
4	4)自我の構造、自我の発達段階(自我の機能) 5)不安と防御:自我の防衛機制 6)無意識と精神分析:フロイトの精神力動理論(精神力動) 7)転移・逆転移(転移感情)		

5	3.ストレスと健康の危機 1)精神保健における危機という捉え方(危機の概念) 2)危機への対処(コーピング)(危機の予防) 3)心的外傷が精神の健康に及ぼす影響 (1)心的外傷(トラウマ体験)と生存者(サバイバー)の心理	講義	テキスト①
6	(2)日常生活の中の心的外傷体験が人格に及ぼす影響 (3)喪失と悲嘆 4)レジリエンスの考え方		
7	4.発達と心の健康 1)乳児期の特徴と心の健康 2)幼児期の特徴と心の健康		
8	3)学童期の特徴と心の健康 4)青年期の特徴と心の健康 5)成人前期の特徴と心の健康		
9	6)成人後期の特徴と心の健康 7)老年期の特徴と心の健康	グループ学習	テキスト① テキスト④
10	5.現代社会と心の健康 1)地域社会と心の健康 2)学校における精神保健と精神看護 (1)学校という場とメンタルヘルス (2)学校におけるメンタルヘルスの問題と社会的取り組み		
11	3)職場における精神保健と精神看護 (1)労働者の心の健康の現状 (2)メンタルヘルス対策と職場復帰支援制度		
12	6.リエゾン精神看護、災害時地域保健活動 1)リエゾン精神看護とは 2)リエゾン精神看護の歴史 3)リエゾナーズの役割 4)リエゾナーズの活動の実際 5)看護における感情労働とメンタルヘルス		
13	5)災害時の精神保健活動 (1)安全をまもる (2)災害時の精神保健に関する初期対応 (3)災害時の精神障害者への治療継続		テキスト②
14	7.精神保健福祉活動 1)精神保健の概念 2)精神保健福祉の歴史 3)精神保健福祉法と医療及び保護	講義	テキスト① テキスト③
15	筆記試験(45分)、まとめ(45分)	筆記試験、講義	
受講上の注意 ○事前・事後学習はきちんと行う。			評価方法 筆記試験

使用するテキスト

- ①系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院
- ②系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院
- ③系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院
- ④舟島なをみ、望月美知代 看護のための人間発達学 第5版 医学書院

参考文献

- ①精神保健医療福祉白書 多様性と包括性の構築 中央法規